

久々

更新が1週間ぶりとなり申し訳ございませんでした。この1週間はいろいろなことがあり、まさしく師走、忙しい限りでした。

1 インカレ 前にもふれましたが、ベスト8に卒業生が主力で活躍するチームが3校入りました。大変嬉しい限りです。

2 ウインターカップ ついに組合せが決まりました。初戦の相手は決まりませんでした。延岡学園のパートです。相手にとって不足はありません。2年前のリベンジを狙います。ただし、初戦をしっかりものにしなければなりません。まずは、初戦に全力集中です。

3 三地区対抗 本年度は多くの学校が考査にかかり、例年より参加が限られました。長崎西も不参加です。しかし、参加した選手たちは一生懸命にプレイしていました。

4 期末考査 昨日より期末考査が始まっています。選手は学習第一です。このことを忘れてはいけません。

5 協会関係 長崎市会長杯大会の準備、WJBL長崎大会の準備と仕込みで大変です。しかし、誰かがやらなければ進みません。

このようなバスケットボールに忙しい日々をすごしていますが、昨年とは気分的にも全然違います。それは、当然ながらウインターカップに出場するからです。今年のチームを全国の舞台にしっかりと立たせなくてはなりません。そのためには、今を大切にしなければなりません。

ミニバスケット

今週末にミニバスケットボールのクリニックを行わなければなりません。平成26年度の長崎国体を睨んだ事業です。その名もトップアスリート養成事業です。バスケットボールにのみならず多くの競技で小学生対象の指導が行われています。将来に役立つようにしなければなりません。先日の県大会の決勝を見せていただき、ファンダメンタルの大切さを感じましたし、運動能力を高めなければならないと痛感しました。そこで、近隣の城山小学校にお願いして、クリニックの確認をしてきました。今日の選手は、普段から良く指導をされていたのでスムーズにドリルを行うことができました。本番はどうなるでしょうか。バスケットボールをスキになることも大切にしなければなりません。

練習再開

本日定期考査が終了し、練習再開です。ただし、長崎西の体育館は工事のために使えません。12月は他の体育館を借り手の練習です。自分たちの体育館が使えませんが、その代替りの体育館が使用できることは、非常に恵まれています。体育館を借用できるように協力していただいた関係者に感謝しなければなりません。さて、ウインターカップまで20日余りとなりました。3年生にとっては高校バスケットボールの最後の舞台です。しっかりと自分たちのプレイをしてください。1、2年生は、初の全国の舞台です。この晴れ舞台を忘れないでください。次は自分たちの手でつかみ取るのです。コーチである私も子どもたちに感謝しなければなりません。選手たちが頑張ったから全国の舞台で指揮ができます。目指せ、メインコートですね。

バスケット漬け

明日は、ミニバスケットボールのクリニックこれは非常に大切です。平成26年度長崎国体を睨んでのことですから、いい選手を発掘し、育てなければなりません。そして、午後からは熊本遠征です。ウインターカップ前の調整を兼ねてです。3年生にとっては久々のゲームですので、ゲーム感やプレイなどを確かめなければなりません。故障からの復帰選手もいますので、その辺もさじ加減です。しかし、バスケットボールができることは選手にとってもコーチにとっても嬉しいことです。このことに感謝することを忘れてはいけません。さあー 頑張るぞ。まずは、仕事を片づけてからです。

粘り

ウインターカップに向けて最後の練習を行っています。その中で、大切にしなければならないことがあります。それは、粘ることです。この粘り=あきらめの悪さが西高らしさです。ディフェンスは、抜かれても抜かれてもヘルプ&ローテーションそしてリバウンドとルーズボールです。オフェンスは、シュートに行き、そしてリバウンドシュートです。これが西高です。リバウンドやルーズボールで負けてはいけません。このためには、プレイの予測力とボールへの執着心などが大切です。大切にしなければならないことをしっかりと確認して、東京に入りたいですね。

将来

12月からは県立総合体育館で練習をしています。メインアリーナを利用する時は、バスケットボールだけではなく、他の競技と同時に行う時もあります。その中で、少年サッカー(正式な呼び名ではありませんが)と同じ時間があります。少年といっても、小学校2年生以下です。その子たちが、一生懸命にボールを追っています。学校単位ではなくクラブとして活動しています。そのような場面を見ると、バスケットボールの将来が暗く感じます。ワールドカップやオリンピックなど国際的なレベルもバスケットボールとサッカーは違います。JリーグとJBLやBJなどの環境も違います。しかし、このままではバスケットボールの将来は見えません。

東国原知事ではありませんが

「バスケットボールば、どげんかせんといかん」 このままではいけません、何とかしなければ！

師走

ウインターカップを目前に控え、仕事の方は忙しくなりました。年末に1週間ほど東京に試合でいるわけですから、その間の仕事の段取りや次の準備をしなければなりません。とにかく時間がほしいですね。師走・・・この意味も何となくわかりますね

ウインターカップ

明日ウインターカップに出発します。何とか、仕事も終了しました。東京でしっかりと調整して、大会に望みます。 愚公移山・・・今年のキャッチフレーズの確認です。

2007終了

2007ウインターカップが終了しました。2年ぶり5回目の出場でしたが、結果は初戦で東京代表の東海大菅生に敗戦しました。3年生はお疲れ様でした。1、2年生は次なる目標に向けて始動します。勝敗は仕方ないですが、攻めるディフェンスができなかったことが非常に残念で、悔いを残します。新チームは、この経験を活かして全国大会で活躍できるチームにならなければなりません。応援ありがとうございました。

新チーム

ウインターカップが終了し、味志主将を中心とした2007のチームが終わりました。県高総体は破れたものの、ウインターカップには2年ぶりの出場でした。しかし、後輩たちを全国に連れて行った功績は大きいです。もし、出場がなければ、全国を知らない世代となります。これは大変なことになります。全国を知らずに、練習しては全国では通用しません。今日の練習で、本年の練習は終わりました。全国を肌で感じた新チームが塩田主将を中心にどのように生まれ変わるか、楽しみです。ちなみに本日は私の誕生日でもあります。人生およそ90年(平均寿命から推測)その半分が終了しました。これから半分新たな気持ちで、進みたいですね。